

技入玄

別格大本山笠森寺楠光院本堂大改修工事



平成23年正月 父と

この楠光院の右隣に
御住職のお住まいになる
庫裏(くり)があります。

保川正治

「今年もがんばろう」と
いう気もちになります。



私もこの節分に参加、
係わった場所で春節を迎
えられる喜びをかみ締め

お正月には参拝の人
の波であふれる笠森寺
観音堂の山のふもとにこ
の楠光院はあります。
節分には、観音堂で豆ま
きをした後、檀家の方々
が集い、御住職の今年の
言葉に耳を傾ける場所
としてもこの楠光院は
使われています。

「わざが玄人(くろうと)に入る」とのこと、「玄」の
字が入れ込まれています。生涯建築一筋の
父にとっては光榮でありがたかったことでしょう。
私の父 保川玄一は今年平成二十三年元旦で九
十九歳になりました。今でも自転車でゲートボー
ルの練習に行くのが日課となっています。

この「技入玄」は笠森寺楠光院本堂改修落
成の際に頂いた故静海大御前の筆によるもので、
実家の床の間に飾られています。

私の父 保川玄一は今年平成二十三年元旦で九
十九歳になりました。今でも自転車でゲートボー
ルの練習に行くのが日課となっています。